| | |
|---|---|
| 事例No. | 1464 |
| 公表年度 | R3 |
| 団体の属性 | 指定都市 |
| 団体名 | 熊本県熊本市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | DX |

| | |
|---|---|
| タグ | ・（公営企業）水道事業<br>・下水道事業<br>・AI |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 自治体行政へのＡＩの活用研究 |

事例内容・タイトル

熊本市型アセットマネジメントシステム構築に向けた共同研究の取組み

出典

地方公共団体における行政改革の取組（令和４年３月公表）

# 熊本市型アセットマネジメントシステム構築に向けた共同研究の取組み <熊本県熊本市（人口約73万人）>

○「持続可能かつ効果的な上下水道事業運営の実現」に向けたDX（ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ）の取組として、企業との共同研究により、共有プラットフォームとAI等を活用した**熊本市型アセットマネジメントシステムを構築し、デジタル視点のBPR**を目指す

<デジタル視点の業務改革を踏まえた新たなマネジメントサイクル（案）の構築>

## 課　題

○上水道管路のうち約23%の管路が法定年数を超過（令和2年度末時点）するなど**施設が老朽化**
○**設備更新における日々の維持管理データの活用が不十分**
○職員数や利用料金収入の減少

## 取　組

○デジタルを活用した新たなアセットマネジメントサイクルを検討
○資産台帳情報に加えて、点検データや住民からの報告情報など**日常管理において得られる情報も活用**し、**管路の劣化予測**や**更新の優先順位**などに係るAI分析を実施

## 成　果

○**上水道管の運転最適化や漏水箇所の予測、下水道管の部品故障予測や陥没箇所の予測**について、7割～9割の正答率の分析結果を得た
○AI分析の信頼性を高めるための日常管理におけるデータ収集の重要性を認識し、今後、**多くのデータを活用することによる事業計画の精緻化・高度化が期待**

⇒　第２期はAI分析のさらなる検討を行い、「熊本市型アセットマネジメントシステムの構築」（骨格・導入ステップ・運用方法等）に向けたさらなる研究を進めていく予定

○新たなマネジメントサイクル（案）の構築

【第1期】 令和2年5月28日～令和3年3月31日 構成企業：6社
【第2期】 令和3年8月1日～令和4年7月31日　構成企業：4社

